

## リモコン便器洗浄ユニットを連立して設置し、誤作動する場合の現場対応法 ～ HE10JK・HE20JK・HE30JK ～

### 【ご注意】

- ① 当コンテンツは、商品の購入間違いを救済するためのものであり、現場での商品改造を推奨するものではありません。組替えはお客様責任となりますので、あらかじめご了承ください。
- ② HE10JK・HE20JK・HE30JKのみの対応となり、他品番は対応できません。

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと受信ユニットに特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

ラベル	<<リモコン用>>	<<受信部用>>
特殊コード	<b>リモコンコード特1</b> このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。	<b>リモコンコード特1</b> この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。
	品番	品番
タイプ1(特1)	D05432-1	D05431-1
タイプ2(特2)	D05432-2	D05431-2
タイプ3(特3)	D05432-3	D05431-3
タイプ4(特4)	D05432-4	D05431-4
タイプ5(特5)	D05432-5	D05431-5


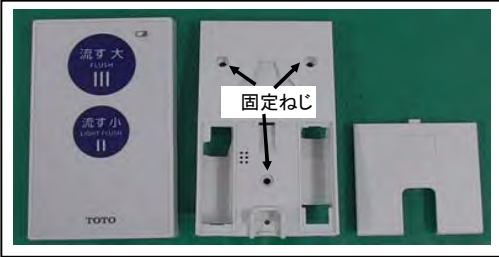
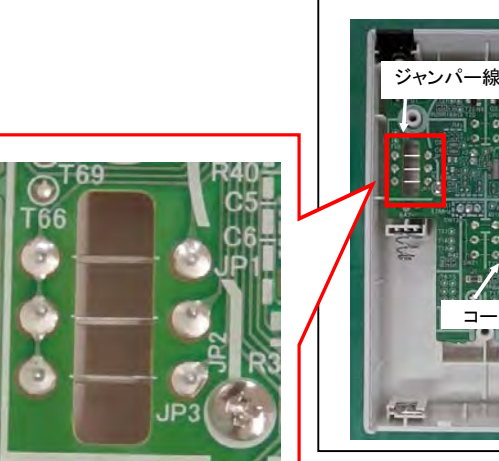

### 2. 連立トイレの配置例

正規 タイプ	(特1) タイプ1	(特2) タイプ2	正規 タイプ	(特1) タイプ1
-----------	--------------	--------------	-----------	--------------

(特3) タイプ3	(特4) タイプ4	(特5) タイプ5	(特3) タイプ3	(特4) タイプ4
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

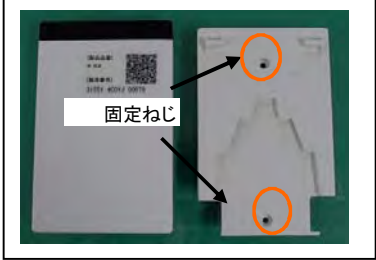

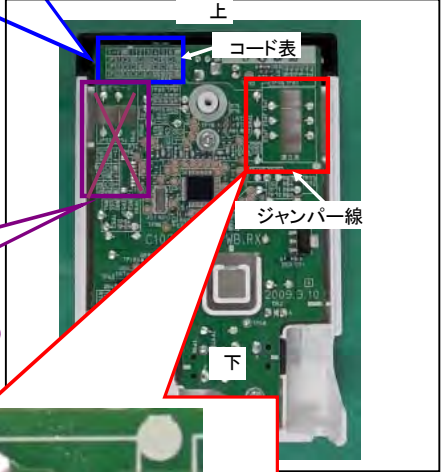
リモコン側・受信ユニット側双方の設定が必要です。

### 3. リモコン側の設定方法 (写真はHE20JKを使用)

手順	リモコン特殊コード切り替え方法	
1	 <p>電池カバー</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>
2	 <p>固定ねじ</p>	<p>リモコン裏面のねじ3本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>
3	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p>  <p>ジャンパー線</p> <p>コード表</p> <p>《ジャンパー線がある場所》 向かって左部分。 (電池カバーの左上。)</p>	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、コード表にしたがってニッパで切断することによりタイプ1～タイプ6へ切り替える。</p> <p>標: 標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3 ……</p>  <p>○: つながったまま 切: 切断 《コード表がある場所》 向かって右下部分。</p>
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>	
5	<p>リモコン本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>	<p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>

※1 リモコン・受信ユニット側双方の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

#### 4. 受信ユニット側の設定方法(写真はHE20JKを使用)

手順	受信ユニット特殊コード切り替え方法																																	
1		<p>受信ユニット裏面のねじ2本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																
2	<p>標: 標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3</p> <table border="1" data-bbox="347 577 948 864"> <tr> <td>コード標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> </tr> <tr> <td>JP51</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>JP52</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>JP53</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> </table> <p>○: つながったまま 切: 切断</p> <p>《コード表がある場所》 向かって左上部分。</p> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線コード表共に2種類あります。必ず連立用と書いたジャンパー線とそこから矢印で結んでいるコード表を見ながら対応してください。</p> <p>紫で囲んでいるジャンパー線とコード表は全く違いますので触らないでください。</p> <p>《ジャンパー線がある場所》 向かって右上部分。</p> 	コード標	1	2	3	4	5	6	標	JP51	○	切	○	切	○	切	○	JP52	○	○	切	切	○	○	切	JP53	○	○	○	○	切	切	切	<p>基板上の3本のジャンパー線を、コード表にしたがってニッパで切断することによりタイプ1～タイプ6へ切り替える。</p> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。</p> <p>◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> 
コード標	1	2	3	4	5	6	標																											
JP51	○	切	○	切	○	切	○																											
JP52	○	○	切	切	○	○	切																											
JP53	○	○	○	○	切	切	切																											
3	<p>①裏板をねじで受信ユニットに取り付ける。</p>																																	
4	<p>受信ユニットの裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <p>例</p> <table border="1" data-bbox="999 1850 1321 1962"> <tr> <td>リモコンコード特1</td> </tr> <tr> <td>この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。</td> </tr> </table>		リモコンコード特1	この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。																														
リモコンコード特1																																		
この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。																																		

※1 リモコン・受信ユニット側双方の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)